



公益社団法人 地域医療振興協会
石岡第一病院

元genki気

2018年1月発行 発行所 / 石岡第一病院 石岡市東府中1-7

2018
冬号

Vol. 27

新しいドクターのご紹介！

小児科

宮崎 賢治
医師

石岡の皆様こんにちは。
1月から3月の3ヶ月間小児科
で研修をさせていただきます、
医師5年目筑波大学総合診療科
の宮崎賢治と申します。
群馬生まれ、大学は富山、初期
研修は栃木の自治医科で行いま
した。初期研修後に総合診療を
志ざし、茨城の地に来て早3年
が経とうとしています。

総合診療の目標の一つに「地域を診る」ことがあり、小児科で仕事をしながら病気だけでなく、その視点を学んでいきたいと思いを。そして、地域の皆さんに「笑顔と安心」を届けられるように成長していきたいと思いを。どうぞ、お気軽にお声をかけてください。また、美味しいもの情報も是非教えてください。



消防避難訓練！



11月に院内での火災発生を想定し、職員の避難と患者様の誘導をシュミレーションしました。消火器による消火訓練などの貴重な体験もすることができました。



率先して院長が消火訓練

スキンケア（褥瘡）講演会

公立黒川病院 皮膚・排泄ケア認定看護師
佐々木 多恵子 先生



1月11日（木）に公立黒川病院から皮膚・排泄ケア認定看護師である佐々木多恵子先生にお越しいただいて、褥瘡予防・スキンケアの方法についてOJT研修と講演会を開催しました。当院は、褥瘡管理加算をとっておりますが、褥瘡発生率が高い状況が続いておりました。そこで、褥瘡ケアのスペシャリストである認定看護師から、直接、当院看護師へ褥瘡ケアのポイントについて説明や助言を行っていただきました。

また、講演会では演習を取り入れて、実際にスタッフが体験することで、身をもってスキンケアの重要性を感じることができたと思います。

当院にあるエアマットをはじめとする褥瘡ケア用品は、20～30年前の物が使われており、「このケア用品で、褥瘡発生率が4～7%というのは、看護スタッフのケアが良いため」と微妙なお褒めの言葉もいただきました。今回の講演会后、早速、褥瘡委員会が中心となり、当院にある褥瘡ケア用品の見直しを始めたところです。褥瘡ケアに意識が高まった今が、褥瘡ケアはもとより病院全体の底上げが必要なため、少しずつ変化しつづける必要があると感じています。

認知症ケアチームの紹介

認知症ケアチームは、昨年10月より認知症ケア加算Ⅱを申請し、認知症ケアチームも発足いたしました。チームメンバーは、看護協会主催の所定の研修を終了した看護師7名が所属し、月に2回の病棟ラウンドを行っています。病棟スタッフからの相談を受け、認知症を患う患者様のケアを検討しアドバイスを行っています。入院患者様の中には、認知症を患い慣れない入院環境で不安を抱える患者様が多く見受けられます。

入院や治療による環境変化から、せん妄や認知症状の悪化をきたすこともあるため、入院時から患者様の不安を理解し寄り添える看護を提供できるよう介入しています。まだ、発足したばかりのチームですが、チーム一丸となり認知症を患う患者様やご家族様が安心して入院生活を送ることができるよう日々模索しながら活動しています。

また、12月1日（金）に磐梯町保健医療福祉センターから認知症看護認定看護師である木田直子先生にお越しいただいて、認知症看護についてOJT研修と講演会を開催しました。OJT研修では、対応困難な患者様への対応方法を先生が自ら実践して、対応の仕方を教えていただきました。暴言や暴力のある患者様でも木田先生の手にかかれば、5分もしない内に笑顔になりました。今後、当院の全看護職員が木田先生のような看護を行えるよう努めていきます。



～ 病院行事 ～

忘年会！



一致団結！



先生自ら余興に参加



看護部！



最高です！